

トツキトウカ YOKOHAMA

青葉区の小学校で「いのちの物語」 を活用した授業を実施します

市立鴨志田第一小学校（青葉区）で、こども青少年局と青葉区役所（福祉保健センター）が協力して、「人の誕生」についての授業を行います。

5年生の理科の授業で、区の助産師の講義や、横浜のママ・パパが赤ちゃんへの思いを綴った詩集「いのちの物語」の朗読を行い、新しい命の誕生やその感動・喜びについて、児童にわかりやすい形で取り上げます。

また、当日は保護者参観日で、児童が発表する感想を保護者が聴くことで、親子で生まれたときのことを話しあう機会づくりになることが期待されます。授業の内容については、学校独自の取組として保護者アンケートによる授業評価も行われ、今後の授業づくりに役立てられます。

- 日時 平成23年6月17日（金）13:45～14:30
- 場所 鴨志田第一小学校 視聴覚室
青葉区鴨志田町805番地
※取材の際は、事前にこども青少年局企画調整課にご連絡のうえ、当日は13:30までに校長室へお越しください。
- 主な内容 5年生（学年授業）理科「人の誕生」
福祉保健センターの助産師のお話、トツキトウカ YOKOHAMA 「いのちの物語」朗読
児童の感想の発表 等

トツキトウカ YOKOHAMA から生まれた 小学生向けダイジェスト版「いのちの物語」6月に発行！

平成19年度にスタートし、今年度で5年目となる「トツキトウカ YOKOHAMA」の取組から、小学生にもわかりやすい詩をまとめたダイジェスト版「いのちの物語」が誕生しました。横浜のママ・パパが綴った赤ちゃんへの思いを小学生に届けることで、“いのち”や“生きること”について考える機会づくりへとつなげていきます。



主催：トツキトウカ横浜実行委員会 共催：横浜市こども青少年局

お問い合わせ先

こども青少年局企画調整課 井尻 靖 Tel 045-671-4280（取材申込、トツキトウカ YOKOHAMA 及び今回の授業内容について）
青葉区こども家庭支援課 福石 貞子 Tel 045-978-2443（助産師の講義及び区役所の取組について）
教育委員会事務局指導企画課 今辻千佳也 Tel 045-671-3233（学校教育・学校行事全般について）

【参考】トツキトウカ YOKOHAMA とは

◇取組の概要

「トツキトウカ YOKOHAMA」は、妊娠中、または0歳児を持つ家庭の母親・父親から、赤ちゃんへのメッセージ（詩）を公募し、詩集として発行するものです。

横浜市では、平成19年度より、「トツキトウカ横浜実行委員会」と連携し、詩の募集、及び詩集の発行を行っています。

子育て中の孤立感や育児不安が高まっているとされる中、赤ちゃんを授かったとき、誕生したときの言葉は、喜びや感動をいつまでも心に留め、不安や虐待の芽を取り除くことにつながると期待できます。父親からも詩を贈ることで、父親の子育てへの参加促進のきっかけづくりともなります。また、詩集を小・中学校の授業や学校行事、朝読書などで利用することにより、次代の父親・母親の育成にも活用できます。

◇実施体制

- 主催 トツキトウカ横浜実行委員会（会長：横浜市産婦人科医会会長 明石 敏男）
- 共催 こども青少年局
- 後援 横浜市医師会、横浜市産婦人科医会、日本助産師会神奈川県支部
- 協賛 市内企業、子ども関連企業

◇平成22年度実績

(1) 詩の募集

- 期間：平成22年4月～23年1月

(2) 詩集の発行

- 時期：平成23年3月
- 体裁：B6判、24ページ
- 部数：40,000部
- 配布方法

窓口：区福祉保健センター※、地域子育て支援拠点、親と子のつどいの広場、市内産科・小児科 等

※母子健康手帳交付・こんにちは赤ちゃん訪問・両親教室など

(3) 詩集の活用

- 市立小学校・中学校の授業で活用

(4) 連携イベントの実施

- 実施日：平成22年7月11日
- 場 所：クイーンズサークル
- 内 容：ミニライブ、トークショー、ミニ講座、子育て情報・育児グッズの紹介など

◇今年度の新たな取組

詩集の活用をさらに広げていくため、今年6月に初めての試みとして小学生向けダイジェスト版トツキトウカ YOKOHAMA「いのちの物語」を発行

- 時期：平成23年6月
- 体裁：B6判、8ページ
- 部数：10,000部